

木のある暮らしづくり

活動地域  福井県



さとやま遊歩道の共同作業

課題

今まで密接していた森とひととの暮らしの関係が現代において離れてきており、それにより森林の荒廃、また、自然災害時の林地残材の流出などが課題となっている。

目標

森林資源を活用して森や木の価値を再評価し、森とひととの暮らしの関係を再構築することで、森と親しみ、森とともに暮らす調和のとれた木のある暮らしづくりを実践すること。



今後の
展望

間伐による薪の供給、さとやま遊歩道による森林公園の造成、及び、当該地域の環境に合った木育プログラムを進めることで、森とひととの暮らしの関係の再構築を行い、木のある暮らしを実践していく。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

- 新材の地域内供給を行うため、地域での間伐を行うもり森応援隊を結成し、間伐研修を行った
- 間伐における作業安全を確保するため、森づくり安全研修に参加し、安全管理力を高めた
- 地域住民主体のワークショップにより、里山景観設計図（いじら・さとやま遊歩道構想図）を策定した
- 里山景観設計図をもとに、さとやま遊歩道づくりのための土台作り、及び、地域住民主体による植樹、ウッドチップの散布作業を行った
- 地域での木育活動として、スウェーデントーチのワークショップを1回開催した



さとやま遊歩道の打ち合わせ

もり森応援隊メンバー **16人**

さとやま遊歩道に関わった地域住民 **13人**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **30%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

もり森応援隊において、間伐における森づくりの安全研修ができる講師を探すのに苦労をした。

■ 工夫した点

地域住民が主体的に関われるように、共同作業などの機会を多く設けるとともに、連携する大学の学生にも呼びかけた。

〒910-2461
福井県福井市南野津又町19-46
電話：0776-93-2335
E-mail：info@ijira.jp
HP：http://www.ijira.jp

